

79 市民理解が得られない その1 学校用地の取得

連載 お金の使い方 79 市民理解が得られない その1 学校用地の取得

みらい川崎市議会議員団 こばりか子

第5回定例会・決算審送りされ、その結果、地査特別委員会では様々な価の値上がりで土地代が課題が浮き彫りになり、約5億円、設計のやり直した。まずは「新川崎地」で約1億円など合計約8億円の増額となり、し

均よりかなり広いうえ、形状が不整形で接道部分が少ないとの理由で約1億3600万円の『残地補償』の支払いも発生。整形地になるよう購入予定地の縮小や学校と残地の位置の入替え等の交渉を行うよう提言もしましたが、この土地購入に関する契約は平成24年1月に行われ、さらに『環境整備推進会議』摘録では取得用地の区画や形状、日照問題等について

疑義があったものの「事業者からこの形状でない」と採算がとれないといわれた」との報告で了承され、そのまま基本協定書が結ばれました。しかし、この基本協定書には、残地補償に関する記述はありません。この残地補償は、文教委員会で

「事業者が残地補償料を当てにして市と交渉していると捉えられても致し方ない。こうした不明瞭な取引が行われないよう、市民が納得できる根拠を示したうえで今後は取引を進めること」を要望し、この議案を承認しました。

幸区新川崎地区で大規模校建設用地では過去最高模マンシヨンの複数建設の80億円超でした。ちなみに、小学校の開校がみに、はるひ野小中の取建設計画の遅れで平成29年

から令和7年度まで先学校用地面積についても、マンシヨン業者から指定された土地の規模が市内小学校平均

「事業者が残地補償料を当てにして市と交渉していると捉えられても致し方ない。こうした不明瞭な取引が行われないよう、市民が納得できる根拠を示したうえで今後は取引を進めること」を要望し、この議案を承認しました。



こばりか子

こばりか子事務所

☎044-299-7360

FAX044-299-7361

開所日:火曜・木曜・土曜(10時~17時)

こばりか子

検索

も、マンシヨン業者から指定された土地の規模が市内小学校平均と採算がとれないといわ

次回、病院事業会計の不正について報告し

市議会HPで代表討論を動画で見ることができます



パソコンで「川崎市議会」にアクセス→緑色の「インターネット議会議中継」→「録画中継 議員名で選ぶ」→「木庭理香子」→「令和2年第5回定例会 10月12日 本会議第5日 討論」で見られます。